



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成25年10月07日 第634号「週刊五十嵐レポート」

万人幸福の栞

倫理研究所の創業者である丸山敏雄氏の著書「万人幸福の栞」があります。私は毎日朝礼時に一ヶ条読んでいます。すべての幸せは「夫婦愛和」から。お陰さまで私は、仕事にまい進できる状態にあります。有難いことです。

友人Aさんの話です。会社の業績は順調に推移していました。しかし2年前に夫婦関係がこじれ、離婚訴訟になりました。次第に生活が荒れてきました。それでも黒字は維持したものの、業績は下降線にはいりました。

ある会社を紹介して新たな仕事も受注ができるようになりました。しかし、ここ数ヶ月で2,3件のクレームが発生しました。

「夫婦は合一によって、無上の歓喜の中に、一家の健康と発展ともろもろの幸福を生み出だす。(中略)結婚の当初はうまくいくが、次第に離れて全くはんたいの方向にさえ行ってしまうことがある。そうなると家のことは、ちぐはぐになって、仕事も商売もうまいかなくなる」(第5条夫婦は一对の反射鏡)

「苦難は生活の不自然さ、心のゆがみの映った危険信号であり、ここに幸福に入る門がある。苦難の原因になっている生活のあやまり、心意の不自然さを取り去ると、かつ然として幸福の天地が開けてくる。苦難は幸福に入る狭い門である」(第2条苦難は幸福の門)

「人を改めさせよう、変えようとする前に、まず自ら改め、自分が変わればよい」(第4条人は鏡、万象はわが師)

私はAさんに「生活態度を改めること、飲み友達とつきあいをおさえること(本当は付き合わないこと)、朝型にすること、事務所内外の掃除の励行すること」と言いました。また、Aさんは今まで墓参りをしたことがありませんでした。墓参りに行くようすすめ、ようやくAさんは墓参りに行ってきました。Aさんはようやく自分を変えなければならぬと決心し行動に移し始めました。幸せになってほしいです(運命は自らまねき、境遇は自ら造る)。

ちょっと
気になる出来事

日経新聞の10月の私の履歴書は利根川進分子生物学者(1987年ノーベル生理学・医学賞)。利根川氏は都立日比谷高校出身。

「高校時代を通じて成績は、だいたい半分から上、良くて上から3分の1ぐらいだったと思います」

「『同じ土俵で相撲を取ったのでは、とても勝ち目はない』と思ったのを覚えています」

「その頃、日比谷高生は大勢、東京大学に進学していました。高校時代に成績がより良かった同級生たちと一緒に、同じ大学に行くのではなく、京都大学を受けることにしました」

利根川博士でも高校時代の成績は中の上。(天下の日比谷ですが)高校時代から、「差別化」を狙っていたことがうかがえます。



一口メモ
成功の秘訣

使うモノも整理の対象

使うモノは捨てる必要はないのでしょうか。実はそうではないのです。使うモノといっても大きく次の3つに分けることができます。

1. いつも使う
2. たまに使う
3. もしかしたら使う

いつも使うモノは残します。しかもできるだけ近くに置いておきます。

たまに使うモノはどうでしょうか。曖昧な表現ですが、使うことに関しては明確ですね。いつも使うモノよりは頻度が少ないので、あまり近くに置く必要もないのです。もしかしたら使うモノはどうでしょうか。もしかしたら使うということは逆にもしかしたら使わないともいえます。1.と2.は頻度はともかく確実に使うのに対して、3.は場合によっては使わないということになります。もしかしたら・・・というモノをいかに捨てられるかが、整理の大きなポイントです。

越前行夫「5Sのすすめ方」(日本能率協会マネジメントセンター)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ● 月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾 毎週日曜日 午前10時～12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

